



木下 尊惇 (ギター・チャランゴ・うた)

82年にチャランゴ奏者、エルネスト・カブールの招きでボリビアに渡る。カブール・トリオのギタシルとなどを経て、86年よりボリビアのグループ「ルスデル・アンデ」のリーダーとなり、4枚のアルバムを発表。ボリビア、日本、ヨーロッパでリリースされる。カブールと共に映画「橋のない川」の音楽を製作。NHK「美しき日本～百の風景ではテーマ音楽を担当、「世界の名峰～グレートサミツ」に楽曲を提供する。ソロではアルバム5枚を発表。「ボリビアを知る68年」(明石書店)、「中南米の音楽」(東京堂出版)に執筆。フォルクローレの視点から、音楽本来の意義を考え、全国各地でさまざまな活動を行っている。

松下 隆二 (ギター)

71年福岡市生まれ。7才よりクラシックギターを坂本一比古、音楽理論を安田峰明各氏に師事。93年に行われた第39回九州ギター音楽コンクール第1位。94年パリ・エコールノルマル音楽院に入学し名教授として名高いアルベルト・ポンセに師事。96年夏、キューバで行われたハバナ音楽祭に参加。帰国後は九州を中心に、ソロコンサート、アンサンブル、編曲、レコーディング及び後進の指導にあたっている。11年リリースの法人作品を集めたアルバム『さくらに寄せて』は、とても高い評価を受けている。フォレストヒルミュージックアカデミーギター科講師。唐人町ギター教室主宰。九州ギター音楽協会理事。福岡市在住。



賛助出演：壇 遼 (ギター)

1988年福岡県みやま市出身。15歳よりギターを石橋正一、中野義久、池田慎司、音楽理論を夏川由紀乃各氏のもとで研鑽を積む。これまでに福田進一、藤井真吾、山口修、大萩康司、富川勝智、坂場圭介、荒田和豊各氏のレッスンを受講。約2年間、大川・古賀メロディーギターアンサンブルのギター奏者としてメンバーに加入、東京、四国公演他、地元を中心に演奏活動を行う。2010年第38回山口ギターコンクール上級の部優勝。2012年第58回九州ギター音楽コンクール次席。はるかギター教室(みやま市、大牟田市、佐賀市)主宰。